

愛媛県 ノーリフティング ケア 普及啓発モデル 事業報告

医療法人きらり
デイサービスセンターかおり



医療法人きらりの紹介

Dr.盛次診療所

デイサービス
センターかおり

重度認知症
デイケア
かおりの家

わたしたちの理念

①『酸いも甘いもかみ分けて、何でも話し合える大家族を作る』

②『高齢者が自分らしさを発揮できる』

③『世間に遠慮しない、社会に迷惑をかける』

④『高齢者も家族も安心して生活できる』

⑤『最期の瞬間まで一緒に過ごす』

⑥『高齢者の尊厳を高める事のできる職員を育成し、社会貢献する』

モデル事業への応募理由

- 募集と同時期に福祉用具購入したが、
積極的に使用することが出来ていない
- 介護職員の腰痛保持者の増加
→ 重度介護者の増加
→ 利用者、職員双方の加齢
- 利用者さんのデイと自宅、2つの生活空間の存在



モデル事業での取り組み

【導入前からデイで取り組んでいたこと】

- 福利厚生にて、全職員へ骨盤ベルトを支給
- ドクター監督のリハビリチームの立ち上げ
 - メンバー構成…ドクター、相談員、作業療法士、介護職員
 - 知識・技術を習得するための勉強会の開催
- 利用者さん毎にリハビリプログラムを作成し、機能維持に努める

- 始業前のラジオ体操の実施

モデル事業での取り組み

【導入後に取り組んだこと】

- ノーリフティングケアを正しく学び、正しい身体の使い方が出来るよう講習、研修機会の獲得
- 福祉用具を正しく使うことが出来るよう、作業標準を作成
- 全職員を対象に腰痛アンケートを実施
→ラジオ体操の時間に、作業療法士考案の腰痛体操を実施

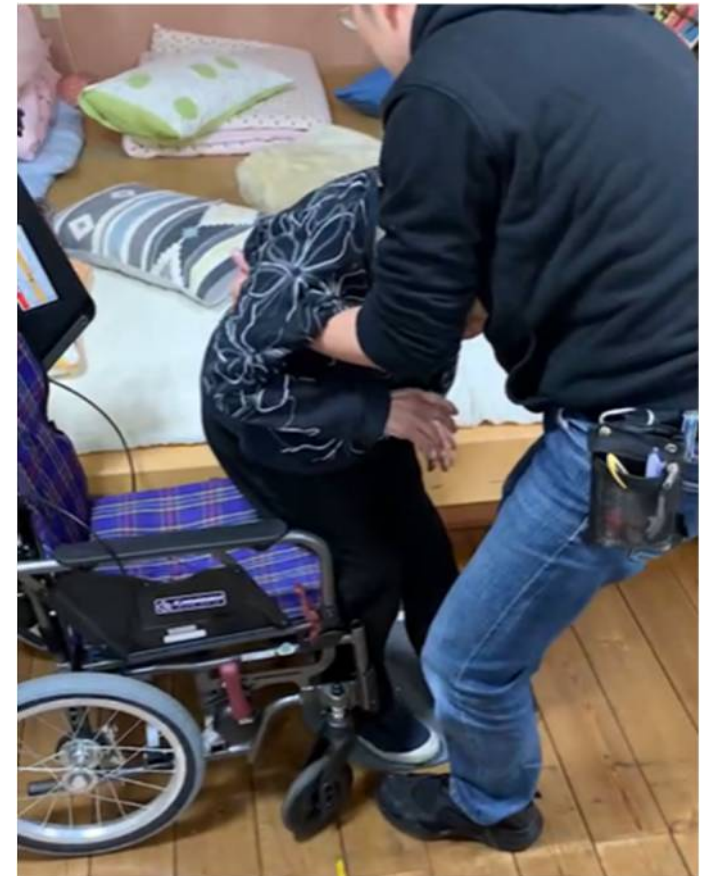


モデル事業を介して学んだこと



シートを使った
移乗方法

ターンテーブルの
使い方



モデル事業を介して学んだこと



↑
ベッド臥位での
ポジショニング

→
車椅子座位の
ポジショニング



利用者さんの変化(椅子座位姿勢)



クッションだけでは仙骨座りに

ボディードクター
とピタサポに変更



利用者さんの変化(ポジショニング)



デイにある枕を使用
左上肢拘縮あり
右股関節、屈曲・内旋

ポジショニング
クッションを使用
安楽な姿勢となり
表情にも変化あり



利用者さんの変化(住宅環境・動画)

- 一人暮らし
- 腰痛症状の悪化により、室内移動が困難に
- 自宅廊下には、手すりも何もない状態

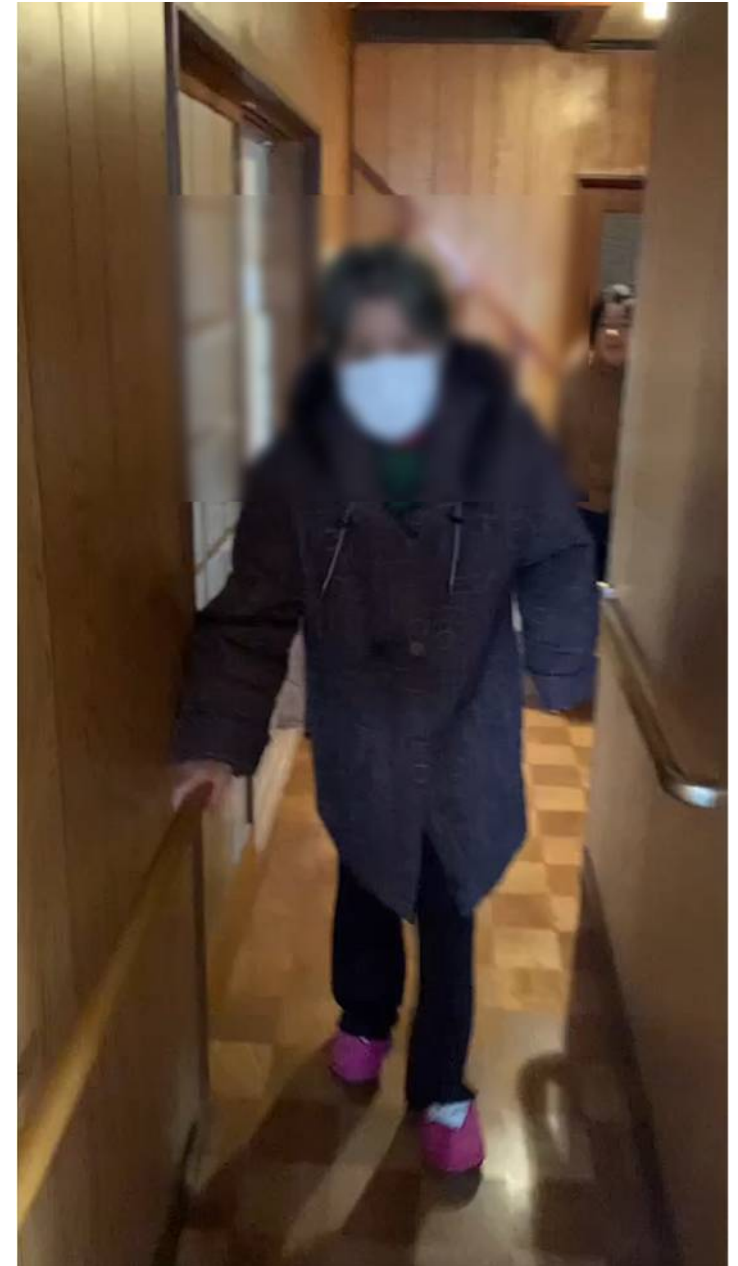


- 手すりを導入することで、歩行状態に大きく変化がみられた
- 本人の精神面での安心にも影響



← 手すりなし

手すり設置後 →



職員側の変化



- 講習には毎回、ほぼ全員の職員が参加
→職員が一体となって、ノーリフティングケアに取り組む姿勢
- 意味なく、デイにあるものを使って姿勢を作るのではなく、姿勢ごとでの支持面や重さの流れなどを意識して捉えるようになった
→その人にあった福祉用具の選出

今後の課題

- 今回のモデル事業で学んだ知識と技術を、定期的に勉強会として実施すること
- 在宅生活において、本人、家族、支援者に必要な福祉用具の選別
 - 寝たきりに近い方への車椅子、ベッド、ボードの活用
 - 必要な場所への手すり、タッチあつぷを設置
 - 生活動線の見直し
 - 畳からフローリングへの住宅改修の提案など

在宅とノーリフティングケア



自宅でのベッドと
車椅子の移乗の様子

リフトの設置により
人力で抱え上げず
お互いにとって負担
のない介助へ



在宅とノーリフティングケア

利用者さんと
ご家族・支援者の
想いを聴く

多職種での連携
カンファレンス

必要な
福祉用具を選ぶ
住宅環境を整える

ブログ
きらり通信
広報による発信

地域との交流の場
運営推進会議

地域への発信(運営推進会議)



利用者さんの家族の方、
松前町役場、ヘルパー事業所を
中心に、報告会を実施

- ①ノーリフティングケア報告会
- ②家族の方に福祉用具を用いた介助方法の体験会

参加者の方の声

- タッチアップって何ですか？
- 座位からベッド上に寝かせるときにはどうしたらいいか？
- 力任せにやってしまう方が早いと思っていたが、今後は色々と活用していきたい。
- 少しの工夫が楽につながるのですね。



ご清聴ありがとうございました



Dr.盛次診療所の
ブログ ↓↓



デイサービスセンター
かおりのブログ ↓↓

